

白銅株式会社(7637)

2026年3月期中間期 決算説明資料

2025年11月12日

目次

1. 2026年3月期中間期 決算内容 P.2
2. 2026年3月期 業績予想 P.17
3. 重点戦略の実施状況 P.20
4. サステナビリティ経営の取り組み P.25

1. 2026年3月期中間期 決算内容

決算ハイライト

売上高

32,699百万円
(前中間連結会計期間比+0.7%)

売上総利益

4,760百万円
(前中間連結会計期間比△8.4%)

経常利益

1,087百万円
(前中間連結会計期間比△38.8%)

2026年3月期中間期サマリ

<売上高>

売上高は、商品単価の上昇に加え、海外向けならびに航空・宇宙業界向けの販売量が増加したことにより、前中間連結会計期間比0.7%增收。海外においては、北米セグメントで売上高が前中間連結会計期間比で增收。中国は景気減速等の影響、タイは国内での自動車販売台数の減少などの要因から減収。

<売上総利益>

半導体製造装置業界向けの需要低迷により粗利益率の高い標準在庫品の販売量減少による単位当たり利益額の減少、棚卸資産影響額の差益減少等の影響で、前中間連結会計期間比8.4%減益。

<経常利益>

標準在庫品の販売量減少に加え、人件費、販売促進費等の販管費が増加し営業利益が減少したこと、ベトナムの出資会社であるOristar Corporationからの配当金の営業外収益の計上があったものの、Hakudo USA Inc.の円建て親子間借入金の為替差損の営業外損失を計上したため、前中間連結会計期間比38.8%減益。

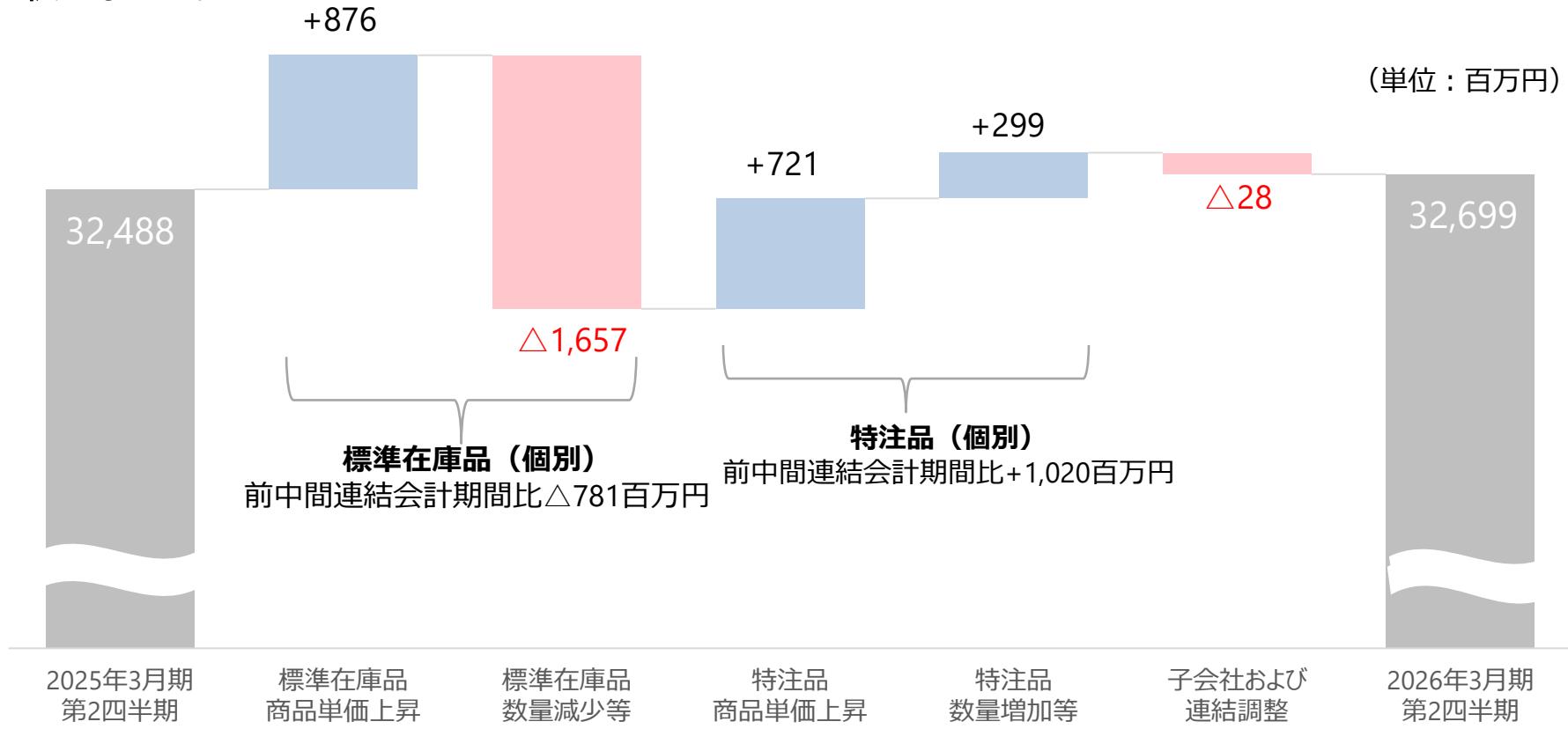
連結損益計算書（PL）サマリ

(単位：百万円)

	2025年3月期 中間期	売上高 比率	2026年3月期 中間期	売上高 比率	増減率	増減額
売上高	32,488	-	32,699	-	+0.7%	+211
標準在庫品	19,227	59.2%	18,352	56.1%	△4.5%	△874
特注品	13,260	40.8%	14,347	43.9%	+8.2%	+1,086
売上総利益	5,194	16.0%	4,760	14.6%	△8.4%	△434
営業利益	1,570	4.8%	1,005	3.1%	△36.0%	△564
経常利益	1,777	5.5%	1,087	3.3%	△38.8%	△689
棚卸資産影響額 (△は損)	236	0.7%	85	0.3%	-	△150
経常利益 (棚卸資産影響額を除く)	1,540	4.7%	1,001	3.1%	△35.0%	△538
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,223	3.8%	683	2.1%	△44.1%	△540

売上高の前中間連結会計期間比差異要因

- 白銅個別の標準在庫品は、販売重量の減少により減収となった。一方で白銅個別の特注品は商品単価上昇に加え販売数量も増加し、前中間連結会計期間比1,020百万円の増収となった。



前中間連結会計期間比 白銅個別標準在庫品 販売重量：△8.9% 商品単価：+5.0%

品種別売上高

- アルミニウム、ステンレス、その他の売上高において前中間連結会計期間比で増収となった。連結売上高全体では0.7%の増収。

(単位：百万円)

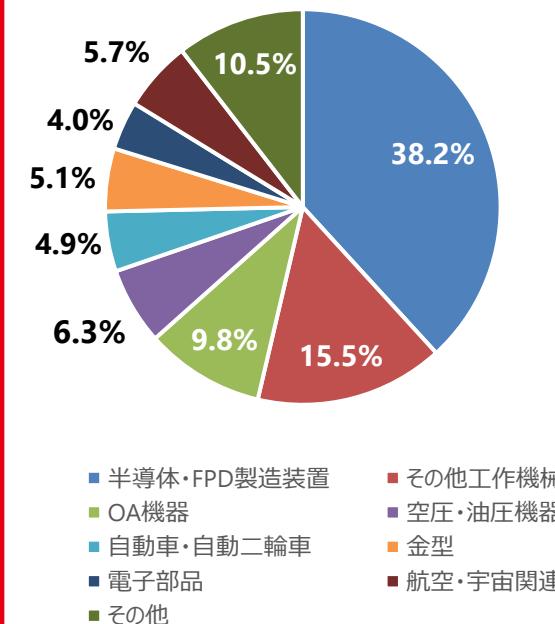
	2025年 3月期					2026年 3月期				前年 中間期比
	1Q	2Q	中間期 累計	3Q	4Q	1Q	2Q	中間期 累計		
連結売上高	15,745	16,742	32,488	17,665	16,256	17,059	15,640	32,699	+0.7%	
アルミニウム	9,363	10,449	19,813	10,984	10,017	10,455	9,514	19,969	+0.8%	
伸銅	2,442	2,312	4,755	2,425	2,321	2,345	2,302	4,648	△2.3%	
ステンレス	3,061	3,122	6,183	3,347	3,073	3,317	2,975	6,293	+1.8%	
その他	878	857	1,736	908	843	939	848	1,787	+3.0%	

業界別売上高構成比率（国内）

- 航空宇宙業界は、民間機需要の持続的回復や防衛関連を中心に官需向けも好調に推移。
- 半導体・FPD製造装置業界の業界別売上高構成比率は、需要低迷により2025年3月期4Qから減少傾向。
- 自動車・自動二輪車は5%前後で推移。

	2025年3月期				2026年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
半導体・FPD 製造装置	37.3%	42.2%	43.0%	39.4%	36.9%	38.2%
その他工作 機械	17.8%	15.6%	14.9%	15.8%	15.9%	15.5%
OA機器	10.3%	9.4%	8.7%	9.3%	9.8%	9.8%
空圧・油圧 機器	5.9%	5.5%	5.8%	5.3%	6.4%	6.3%
自動車・ 自動二輪車	5.1%	5.1%	5.6%	5.7%	5.5%	4.9%
金型	5.4%	5.3%	5.2%	4.8%	5.4%	5.1%
電子部品	4.0%	3.8%	3.8%	4.3%	4.1%	4.0%
航空・宇宙 関連	4.3%	4.3%	4.3%	5.2%	6.2%	5.7%
その他	10.0%	8.7%	8.8%	10.2%	9.8%	10.5%

2026年3月期
2Q



セグメント別業績

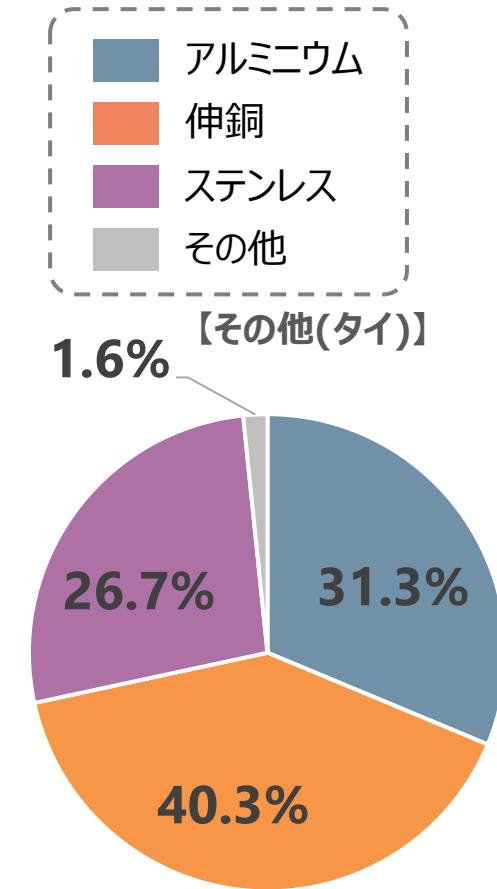
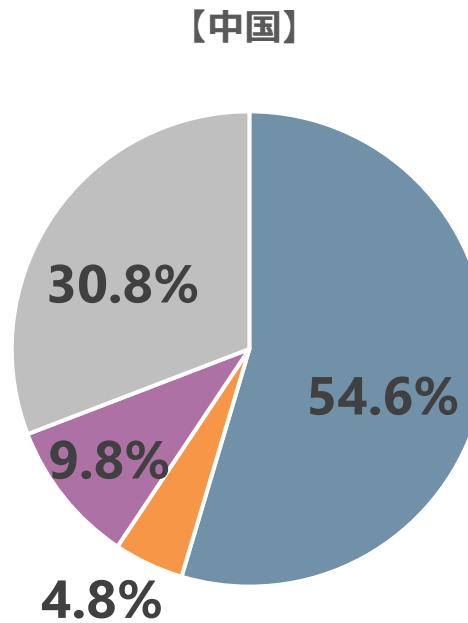
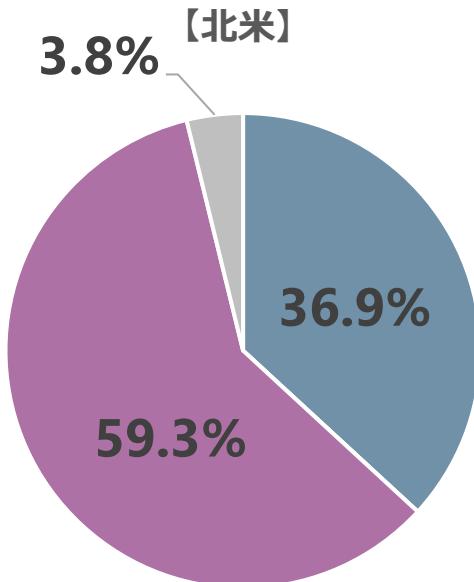
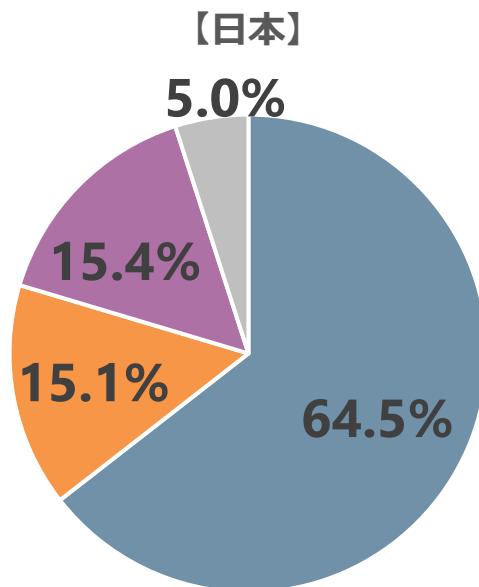
- 北米は、設備投資停滞等による景気低迷および為替差損の影響で183百万円の経常損失も米国関税の引き上げの影響等により販売量が増加し、売上高が増加。
- 中国は、国内景気の影響で売上高、経常利益ともに減少。
- その他セグメント（タイ）は、国内での自動車販売台数の減少などの要因で売上高、経常利益が減少。

(単位：百万円)

セグメント	2025年3月期 中間期				2026年3月期 中間期			
	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に 帰属する 中間純損益	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に 帰属する 中間純損益
日本	28,066	1,574	1,654	1,117	28,274	1,010	1,189	802
北米	2,594	△93	18	23	2,755	△73	△183	△184
中国	985	△2	9	7	867	△3	8	6
その他	841	92	94	75	802	72	72	58

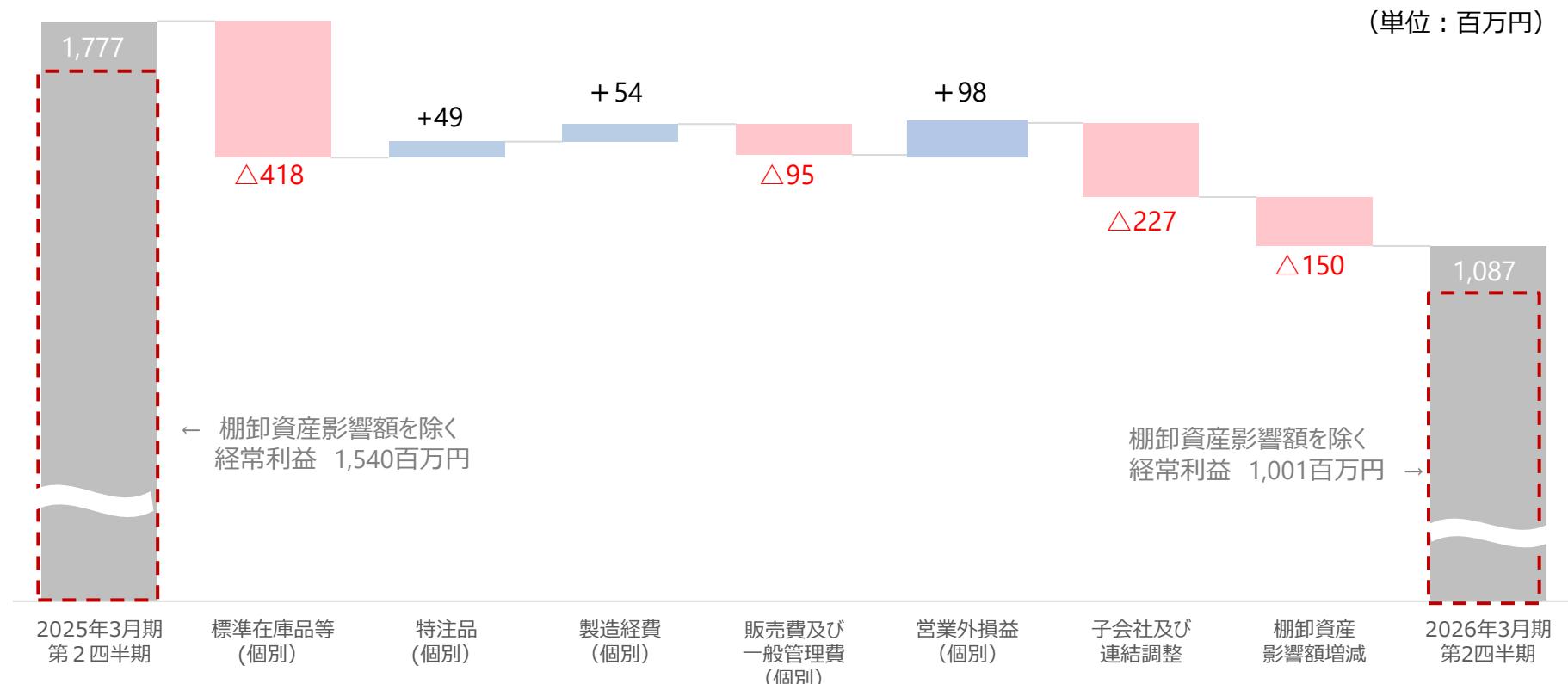
2026年3月期 中間期 セグメント別 品種売上高比率

- 【日本】半導体製造装置業界向けの販売比率が大きい影響でアルミニウムが大きな比率を占める。なお、伸銅・ステンレスの売上高比率が同等となっている。
- 【北米】住宅建設関係をメインの販売業界としているため、ステンレスの比率が大きい。
- 【中国】半導体製造装置業界向けの販売がメインとなるため、アルミニウム比率が高い。一方で、金型・自動車業界向けの特殊鋼含むその他品種の比率が大きくなっている。
- 【その他(タイ)】金型・自動車業界向けの伸銅が大きな比率を占めている。



経常利益の前中間連結会計期間比差異要因

- 白銅個別の標準在庫品販売数量減少や、人件費、販売促進費等の各種コスト上昇の影響により、前中間連結会計期間比で減益となった。



連結貸借対照表 (BS)

- ・ 法人税等納税および配当金の支払いにより現預金は減少。
- ・ 投資有価証券等が増加も、減価償却費が新規投資額を上回り、固定資産が減少。

(単位：百万円)

資産の部	2025年3月末	構成比率	2025年9月末	構成比率	増減
流動資産	35,028	78.3%	32,353	77.2%	△2,675
現金及び預金	5,473	12.2%	4,138	9.9%	△1,335
受取手形及び売掛金 (含 電子記録債権)	16,833	37.6%	16,071	38.4%	△762
棚卸資産	12,522	28.0%	11,944	28.5%	△577
その他流動資産	199	0.4%	198	0.5%	△0
固定資産	9,716	21.7%	9,539	22.8%	△177
有形固定資産	6,404	14.3%	6,067	14.5%	△337
無形固定資産	1,470	3.3%	1,329	3.2%	△140
投資その他の資産	1,841	4.1%	2,142	5.1%	+301
資産合計	44,745	100.0%	41,892	100.0%	△2,852
負債及び純資産の部	2025年3月末	構成比率	2025年9月末	構成比率	増減
流動負債	20,919	46.8%	18,095	43.2%	△2,824
買掛金 (含 電子記録債務)	18,598	41.6%	16,191	38.7%	△2,406
未払費用	888	2.0%	819	2.0%	△69
未払法人税等	547	1.2%	437	1.0%	△109
その他流動負債	885	2.0%	646	1.5%	△238
固定負債	70	0.2%	64	0.2%	△6
負債合計	20,990	46.9%	18,159	43.3%	△2,830
純資産	23,755	53.1%	23,732	56.7%	△22
負債純資産合計	44,745	100.0%	41,892	100.0%	△2,852

流動資産 △2,675百万円

- 法人税等納税および配当金の支払いによる現預金減少

固定資産 △177百万円

- 出資会社であるOristar Corporationからの株式配当により投資有価証券が増加。
- 減価償却費より、有形固定資産が減少。

流動負債 △2,824百万円

- 買掛金の減少
- 法人税の支払（未払法人税の減少）

固定負債 △6百万円

純資産 △22百万円

キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少、法人税の支払いにより△183百万円となった。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、国内における設備投資の実施、投資有価証券の取得により△429百万円となった。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いやリース債務の返済、子会社株式取得により△704百万円となった。

(単位：百万円)

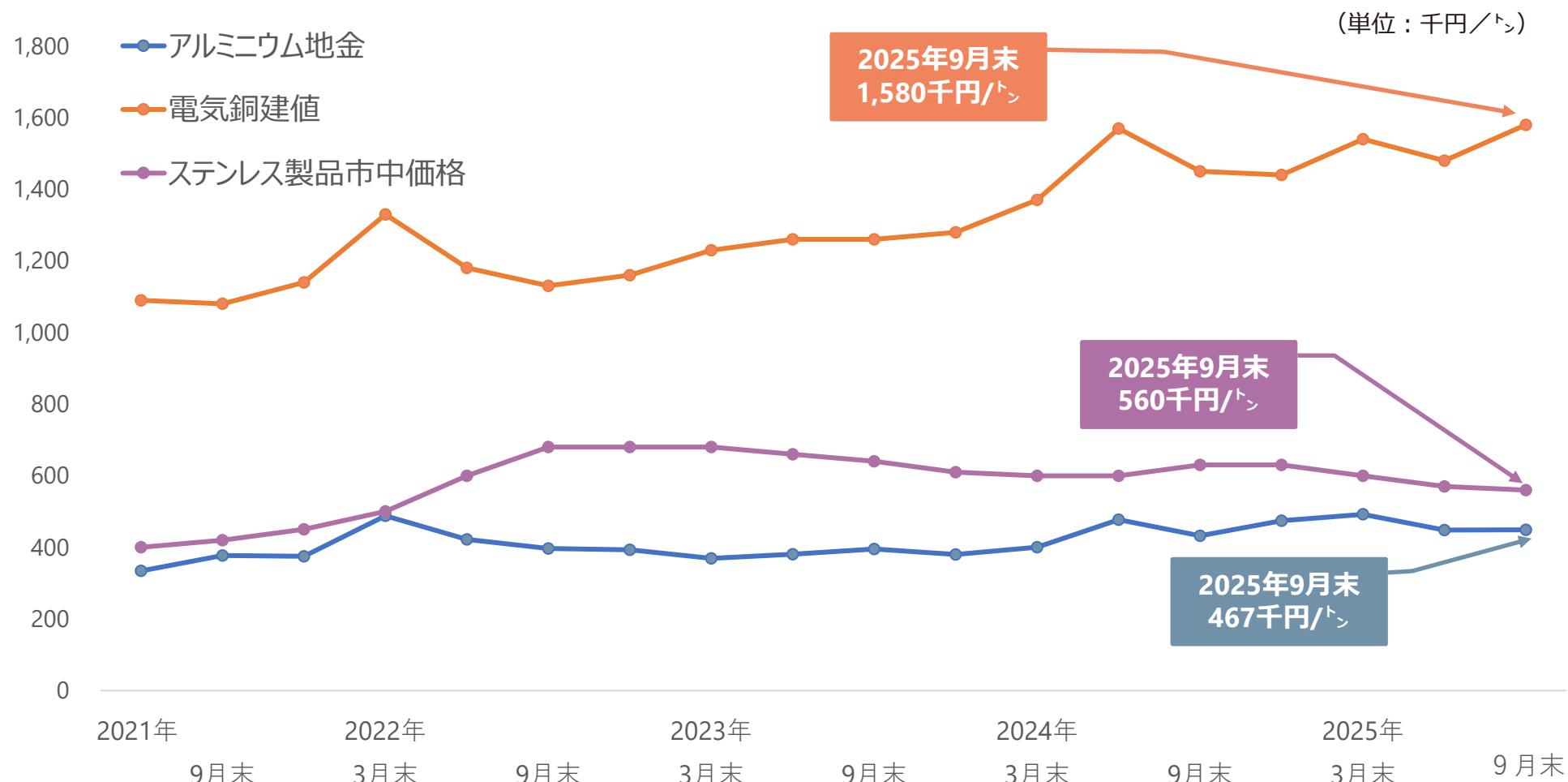
	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期
営業活動による キャッシュ・フロー	△143	△183
投資活動による キャッシュ・フロー	△571	△429
財務活動による キャッシュ・フロー	△532	△704
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△7	△18
現金及び現金同等物の 中間期末残高	4,445	4,138

＜主な内訳＞

- ①営業活動によるキャッシュ・フロー △ 183百万円
- ・税金等調整前中間純利益 : + 1,087百万円
 - ・減価償却費 : + 547百万円
 - ・のれん償却 : + 22百万円
 - ・売上債権の増減額（△は増加） : + 715百万円
 - ・棚卸資産の増減額（△は増加） : + 504百万円
 - ・仕入債務の増減額（△は減少） : △ 2,348百万円
 - ・法人税等の支払額 : △ 506百万円
- ②投資活動によるキャッシュ・フロー △ 429百万円
- ・有形固定資産の取得に伴う支出 : △ 217百万円
 - ・無形固定資産の取得に伴う支出 : △ 46百万円
 - ・投資有価証券の取得に伴う支出 : △ 54百万円
- ③財務活動によるキャッシュ・フロー △ 704百万円
- ・配当金支払額 : △ 452百万円
 - ・リース債務返済による支出 : △ 39百万円
 - ・子会社株式取得による支出 : △ 212百万円

事業環境（1）アルミニウム・銅・ステンレスの原材料市況

- ・銅の供給リスクが高まり急伸した国際相場の影響で、電気銅建値が上昇。
- ・直近変動幅の大きい為替相場と併せて、引き続き動向を注視する。

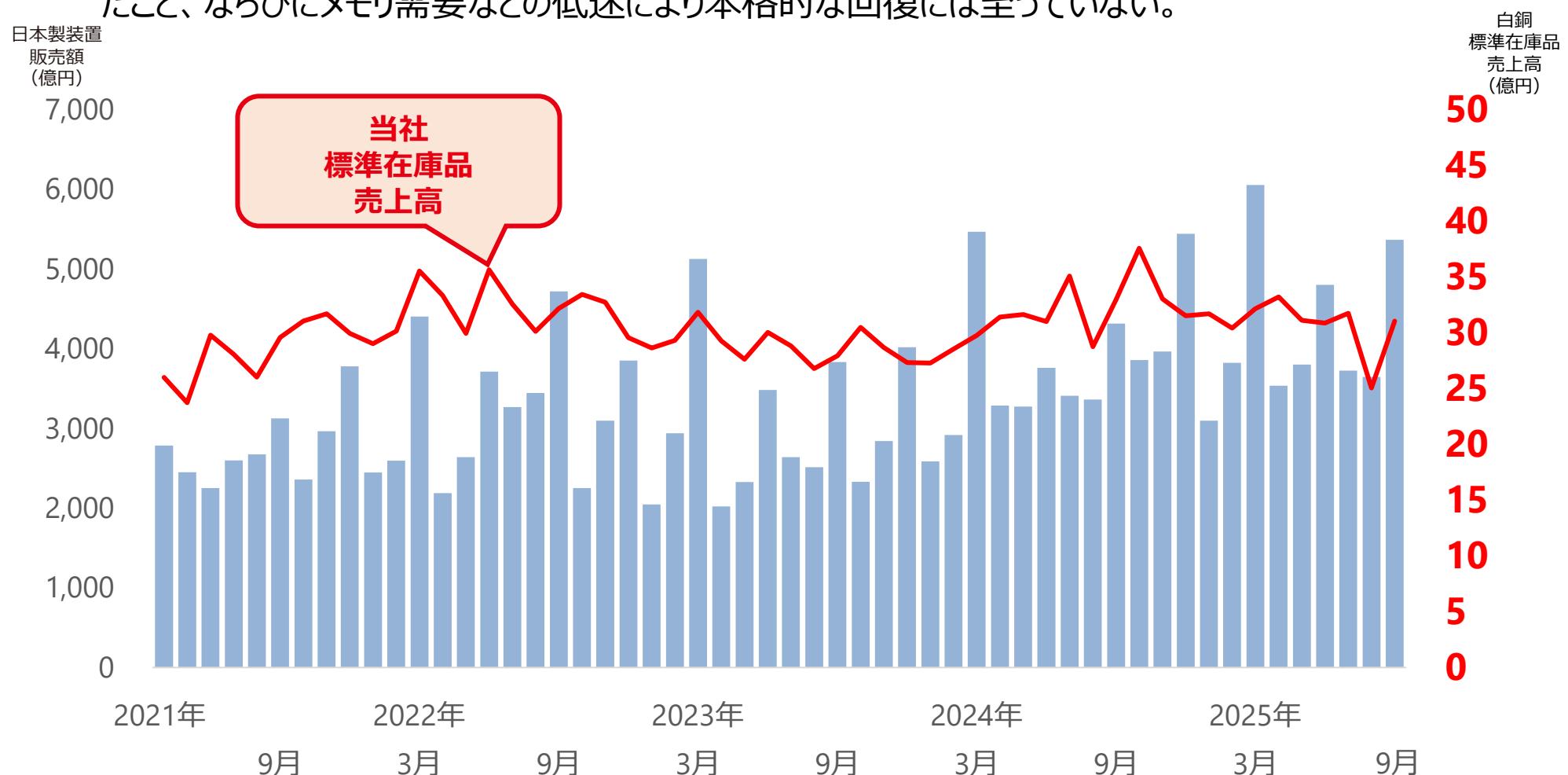


電気銅建値：JX金属による算出
アルミニウム地金：日本経済新聞月別平均値

ステンレス鋼板：鉄鋼新聞月別中心値

事業環境（2）半導体製造装置販売額と標準在庫品売上高との比較

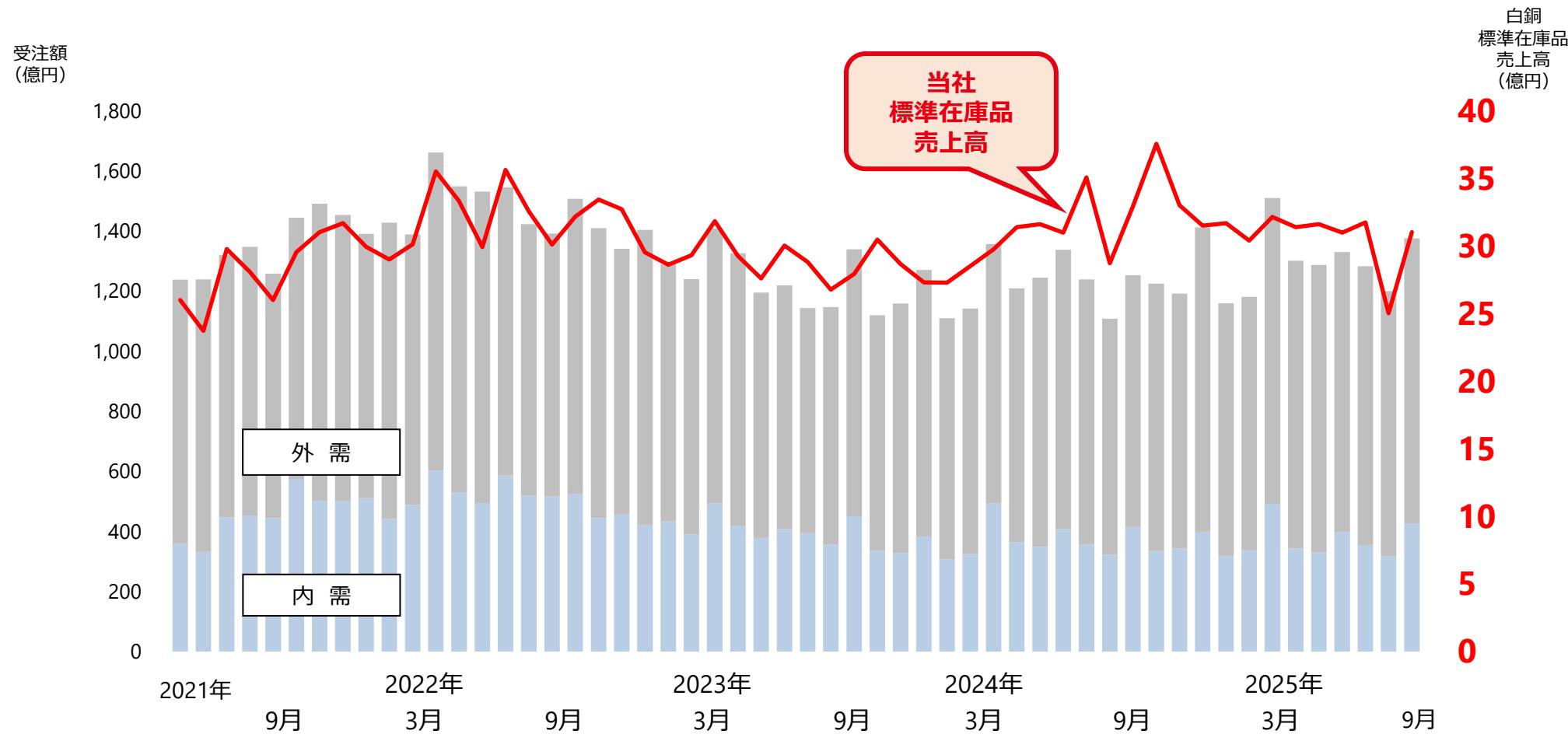
- 生成AI向けについては引き続き堅調な動きが見られたが、中国市場向けの需要に一服感が出てきたこと、ならびにメモリ需要などの低迷により本格的な回復には至っていない。



出典：日本半導体製造装置協会 統計データ

事業環境（3）工作機械受注額と標準在庫品売上高との比較

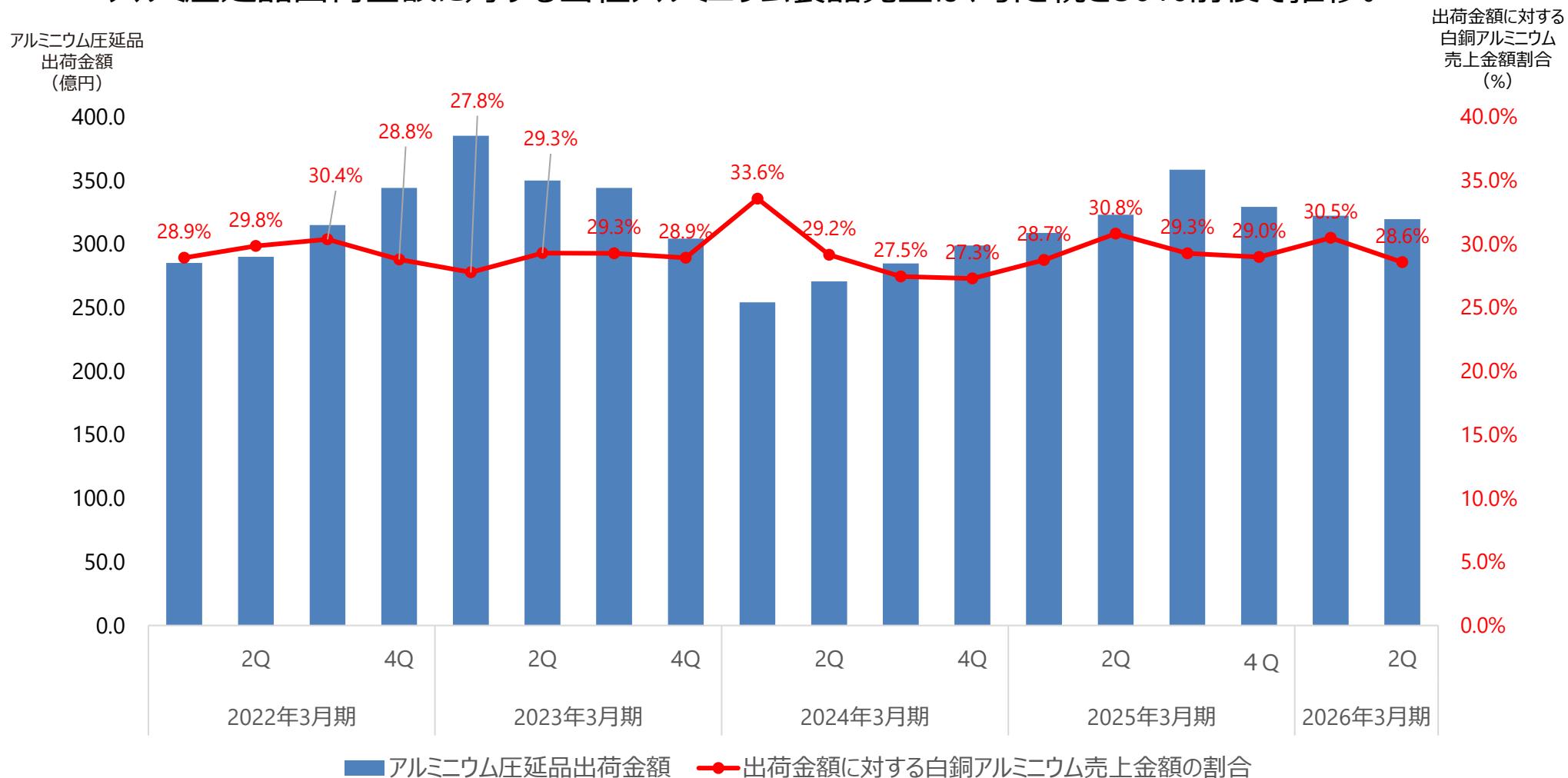
- 受注額は前年2Q期間(7~9月)比で内需4.4%減少、外需6.5%増加。



出典：日本工作機械工業会 工作機械統計

事業環境 (4) アルミ圧延品出荷金額と出荷金額に対する当社アルミニウム製品売上割合

- ・アルミ圧延品出荷金額に対する当社アルミニウム製品売上は、引き続き30%前後で推移。



※ アルミニウム圧延品出荷金額は、板材(6.0mm以上)・円板・管・棒の合計

出典：一般社団法人 アルミニウム協会 アルミニウム圧延品統計月報より

2. 2026年3月期 業績予想

2026年3月期 業績予想

- 第1四半期に発表した修正予想(※)に対し、中間期の売上高および各利益はすべて達成。

	2026年3月期 中間期 予想値	2026年3月期 中間期 実績	達成率	増減額	2026年3月期 通期予想	(単位：百万円) 進捗率
売上高	32,300	32,699	101.2%	+399	67,200	48.7%
営業利益	930	1,005	108.1%	+75	2,450	41.1%
経常利益	1,030	1,087	105.6%	+57	2,580	42.2%
親会社株主に帰属する 当期（中間）純利益	660	683	103.5%	+23	1,690	40.4%

※ 半導体製造装置業界の一部回復遅延の影響で、第1四半期に中間期および通期業績予想の下方修正を実施

株主還元策（配当実績と予想）

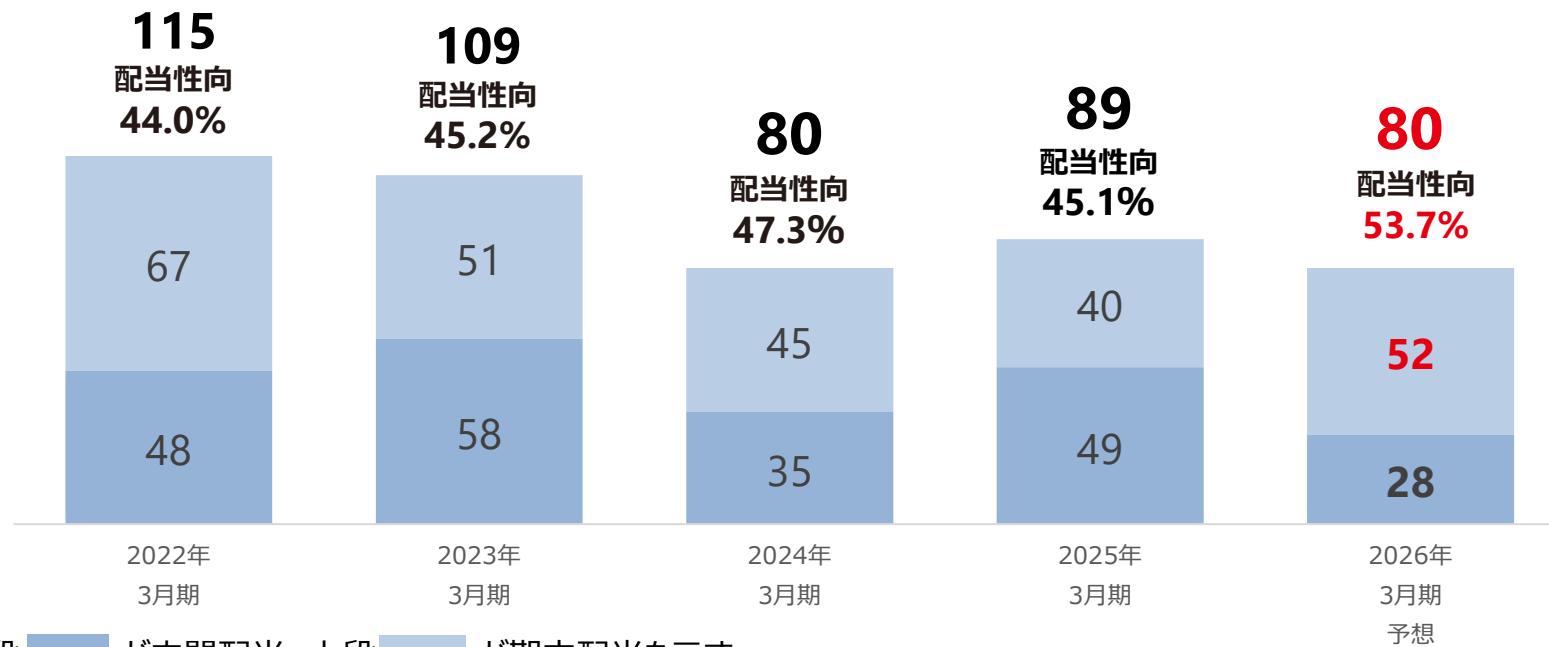
- 2026年3月期の中間純利益が予想を上回ったため、中間配当は第1四半期修正予想より1円増配の1株あたり28円で実施。
- 年間配当予想は、配当方針「年間最低配当額80円」を適用し、1株あたり80円で据え置き。

2026年3月期 配当予想

配当方針

- ・通期配当性向45%以上
- ・年間最低配当額80円
- 原則、いずれか高い金額を配当額とする。

(単位：円)



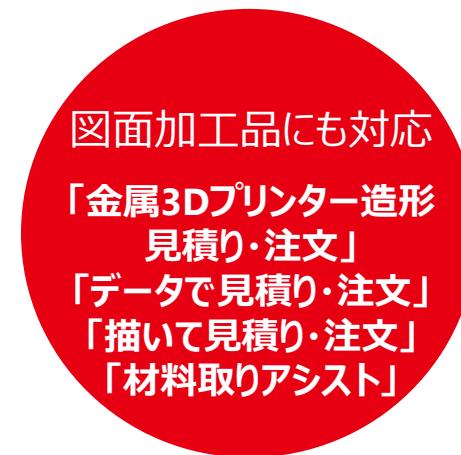
下段 が中間配当、上段 が期末配当を示す。

※2022年3月期は記念配当9円を含む金額

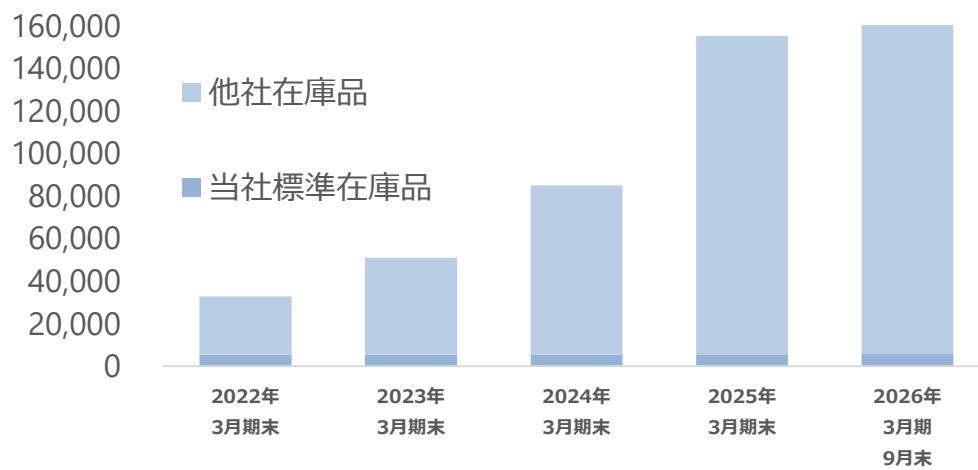
3. 重点戦略の実施状況

重点戦略の実施状況

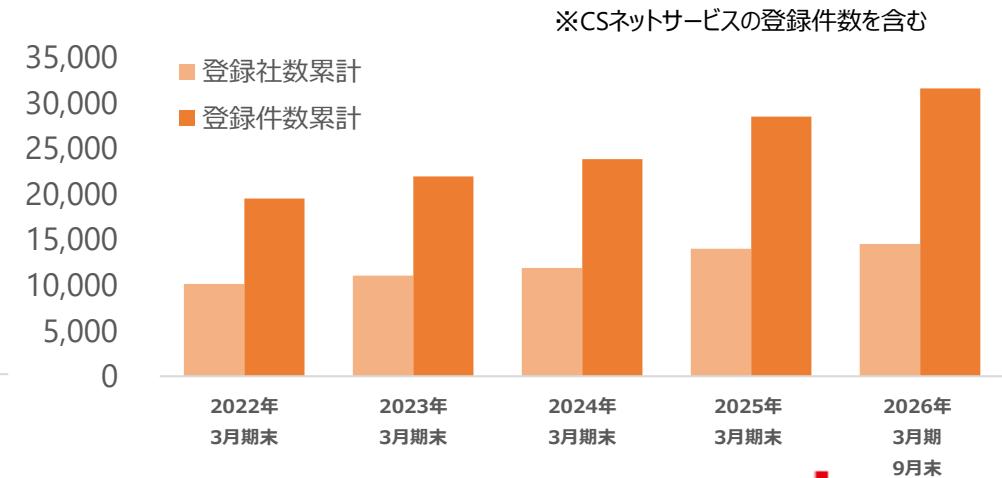
(1) 白銅ネットサービスの進化による顧客基盤の強化・拡大と利益率の向上



【白銅ネットサービス ご利用可能アイテム数】



【白銅ネットサービス ご利用登録社数推移（累計）】



重点戦略の実施状況

(2) 白銅ネットサービス機能

加工品の作図・自動見積もり・注文まで完結できる体制により、お客様の調達コストを削減。

金属3Dプリンター造形見積り・注文

3D CADデータをアップロードするだけで3Dプリンターの見積り・注文が可能。

データで見積り・注文（ウォータージェット加工・レーザー加工）

3D CADデータをアップロードするだけで見積り・注文が可能。

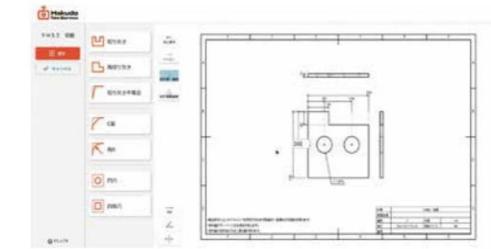
異形切断、中抜き切断等も対応。



描いて見積り・注文機能（マシニング加工・ウォータージェット加工・レーザー加工）

WEB画面上で様々な加工オプションの図面作図ができ、

直ぐに加工込みの見積り・注文が可能。



円穴指定の便利機能などの新機能追加により、お客様の時間を削減。

材料取りアシスト

3DCADデータをアップロードし、商品・加工方法・取り代を
入力することで、必要な材料寸法を提案。



重点戦略の実施状況

(2) 成長領域の拡大



半導体 領域

2026年3月期
2Q
売上高比率
38.2%

専門部署による業界の集約

半導体関連の販売先を専門部署に集約し、
業界ナレッジを蓄積する仕組みを構築



自動車 領域

2026年3月期
2Q
売上高比率
4.9%

新規顧客獲得

金属3Dプリンターを契機に自動車関連の
新規顧客を獲得し、他商材の拡販も展開



航空・宇宙 領域

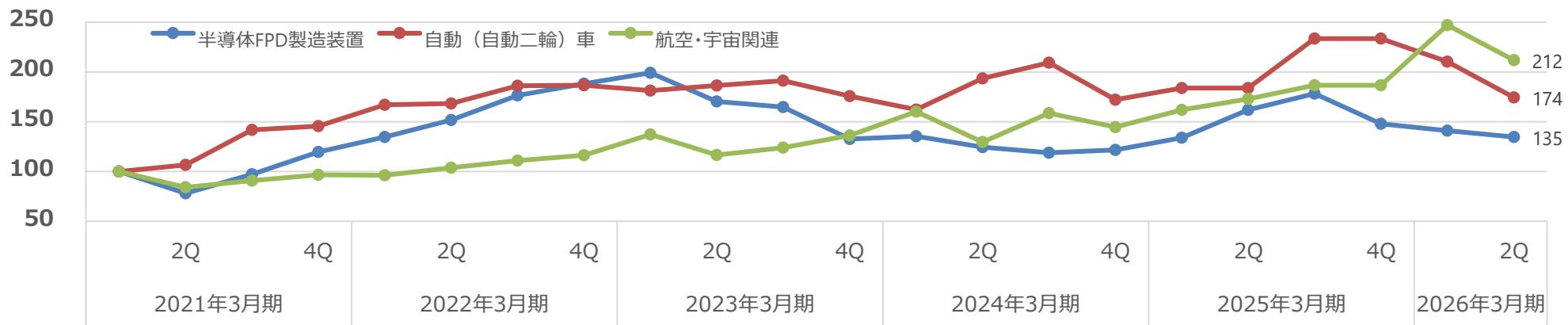
2026年3月期
2Q
売上高比率
5.7%

海外材輸入機能強化

WCAS社と連携し、海外メーカー製
航空宇宙規格材の輸入機能を強化

【成長領域の売上高指数の四半期推移】

※2021年3月期1Qの売上高を基準とした売上高指数の推移

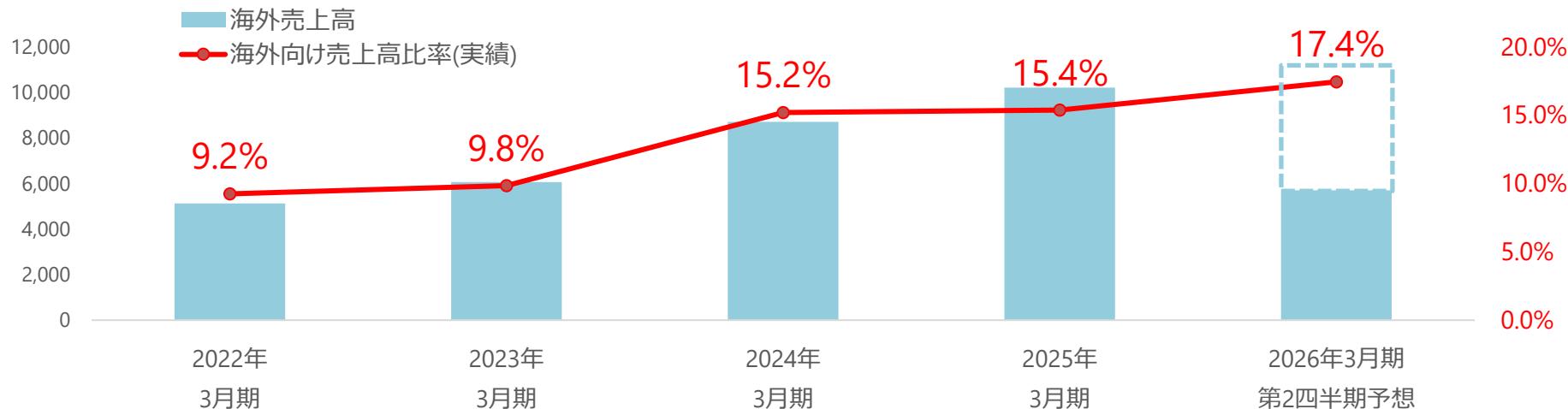


重点戦略の実施状況

(3) 海外事業の拡大

海外事業の売上高と海外売上高比率の推移

(単位：百万円)



※海外売上高は海外子会社売上高と海外子会社以外への本社輸出売上高の合計金額で算出

活動状況

◆ ECパッケージの活用

中国・米国子会社と、ベトナムの出資先でのECパッケージ導入準備中。タイ子会社は導入済み。

マレーシアやインドネシアの代理店での導入も検討中。

その他、韓国・台湾・インド・フィリピンなどにもECパッケージによる販売拡大を計画中。

◆ 事業の拡大

米国ではWCAS社の残り49%を買収し完全子会社化。新たに中西部を拠点とするパトリオット・メタルズ社へ出資。

その他、韓国・台湾・インド・フィリピン等での販売を拡大予定。

4. サステナビリティ経営の取り組み

サステナビリティ経営の取組状況（1/3）

- ESG/SDGs経営委員会の下に設置した分科会の活動項目や目標に対して、現在までの取り組み状況を下表に記載。取り組み状況などを取締役会に報告し、提言や助言を踏まえて活動中。
- 2030年度のCO₂排出量削減目標の変更(2020年度比42%削減 ⇒ 90%削減)
- 福島工場の太陽光発電設備導入によるJ-クレジット制度へのプロジェクト登録。
- 「CDPサプライヤーエンゲージメント評価（SEA）」で最高評価のサプライヤーエンゲージメント・リーダーに選定。

マテリアリティ	取組テーマ	2028年3月期までの活動目標	2028年3月期までのKPI	2026年3月期第2四半期までの取組状況
1. 環境負荷軽減・気候変動対応	CO ₂ 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 2030年度までに90%削減 (2020年度対比) 2050年度までのカーボンニュートラル達成に向け、具体的な削減策を推進 	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量 自力施策により削減するCO₂排出量 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 2030年度のCO₂排出量削減目標の変更 (2020年度比42%削減 ⇒ 90%削減) ✓ 福島工場の太陽光発電設備導入によるJ-クレジット制度へのプロジェクト登録 ✓ CDPサプライヤーエンゲージメント・リーダーへの選出
	製造効率の改善	<ul style="list-style-type: none"> 天然資源の節約・枯渇抑制、環境汚染抑制による社会貢献を継続 <ul style="list-style-type: none"> ・配送効率改善 ・産業廃棄物削減 ・スクラップ率低下 	<ul style="list-style-type: none"> 消費電力量 運賃低減率 廃棄物金額 製造部門消耗品費 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 配送網の再構築による効率化など配送効率の改善活動を実施 ✓ 設備の待機電力削減 ✓ 切削油リサイクルの施策を継続実施 ✓ 環境に配慮した梱包資材の導入
	オフィスペーパーレス化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 資源の無駄を排除し、リサイクル化を推進 コスト削減とともに、自然環境保護へ貢献 	<ul style="list-style-type: none"> オフィス印刷費用 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 会議資料の電子化による紙とトナーカートリッジ使用量の削減
2. 責任あるサプライチェーンの構築	環境配慮製品の強化	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷に配慮した経営による社会貢献 環境負荷の少ない商品（ECO商品等）の企画・導入および安定供給 	<ul style="list-style-type: none"> ECO商品販売重量 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ECO商品拡販とECO商品ラインナップ拡充
	グリーン調達の促進	<ul style="list-style-type: none"> サプライヤーに白銅独自のグリーン調達ガイドラインの遵守協力を促進 	<ul style="list-style-type: none"> グリーン調達ガイドラインの遵守先との覚書取交件数 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ サプライヤーとのグリーン調達ガイドラインの締結
	サプライヤーとの関係強化	<ul style="list-style-type: none"> サプライヤーと協力し、CO₂削減に配慮した施策の実施 サプライチェーン全体におけるCO₂削減を促進 	<ul style="list-style-type: none"> グリーンアルミ調達先発掘 リサイクルアルミ調達先発掘 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 再生原料を使用し、CO₂排出量を約90%削減した環境配慮型アルミ板の販売開始
	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーン上のパートナーと協力し人権に配慮した経営を促進する活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 自社における人権ポリシーの策定、運用 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人権デューデリジェンスへの取組み ✓ サプライヤーへのアンケート調査実施

サステナビリティ経営の取組状況（2/3）



マテリアリティ	取組テーマ	2028年3月期までの活動目標	2028年3月期までのKPI	2026年3月期第2四半期までの取組状況
3. 社会への取り組み	次世代への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本のものづくりの発展や人材育成の支援 ● 次世代の技術の発展や人材育成への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ● 産学協働検討案件数 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 大学の研究室へ訪問し、協働可能な案件を模索 ✓ 学生向けの工場見学会の開催 ✓ 学生フォーミュラ・ロボコン大会参加学生への金属材料の提供支援
	社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続可能な社会への貢献 ● 従業員が誇りを持ち、社会から信頼される企業となるための取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域社会、団体への貢献活動 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 寄付の功績による「内閣府紺綏褒章」を受賞 ✓ 寄付型自動販売機による継続した寄付の実施 ✓ 社内の書籍を収集し、古本募金を実施
4. 人材への投資	従業員満足度向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 従業員各自の生産性や顧客対応へのモチベーションの向上 ● 社会に与える影響力（社会貢献）、会社の業績に与える影響力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 離職率 ● 平均残業時間 ● 有給取得率 ● 男性の育休取得率 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 医療保険および長期障害所得補償保険の法人加入 ✓ 有給休暇の取得しやすい環境づくり ✓ スポーツクラブ利用促進のためのサポート継続 ✓ 「TOKYOパパ育業促進企業」制度のシルバー認定
	ダイバーシティの促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な人材を登用、活用し、組織の生産性や競争力を向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 障がい者雇用率 ● 女性管理職比率 ● 外国籍管理職比率 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 障がい者向けの職場体験実施により、継続的な雇用を促進 ✓ 女性活躍推進・健康セミナーの継続実施 ✓ 外国籍従業員の積極的な社員登用の実施
	健康で働きやすい環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 従業員の心の健康、身体の健康を促進 ● 社会生活における充実度の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高ストレス者比率 ● ハラスメント発生件数 ● 労働災害度数率 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 健康経営の推進継続（健康優良企業「銀」取得） ✓ アンケート結果による高ストレス要因の分析 ✓ 専門家によるカウンセリングの実施 ✓ 職場巡回の強化によるヒヤリハットの未然防止
	社員教育の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務上で必要な知識・スキルの提供 ● 知識やスキルを身に着ける為の機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一人当たり教育費用 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 年間教育計画に基づく教育の実施 ✓ 新入社員研修の充実

サステナビリティ経営の取組状況（3/3）



マテリアリティ	取組テーマ	2028年3月期までの活動目標	2028年3月期までのKPI	2026年3月期第2四半期までの取組状況
5. コーポレートガバナンス	違反者ゼロ	<ul style="list-style-type: none"> ゼロ・トレランスを目指した教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス違反件数ゼロ 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ コンプライアンス研修の継続実施 ✓ コンプライアンス理解度チェックの実施
	ポリシー遵守状況確認	<ul style="list-style-type: none"> 各方針・ポリシーの遵守 <ul style="list-style-type: none"> 白銀グループ人権方針 プライバシーポリシー コーポレートガバナンス基本方針 サステナビリティ基本方針 ディスクロージャー基本方針 社内環境整備方針 教育・育成方針 	<ul style="list-style-type: none"> 左記の方針・ポリシーの対応状況確認 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 方針・ポリシーガイドブックを利用した教育動画の配信
	事業リスク・災害への対応強化	<ul style="list-style-type: none"> 事業リスク評価とBCP見直しの徹底 訓練・対策実施により、従業員の安全確保と円滑に業務を再開する仕組みの構築 	<ul style="list-style-type: none"> リスク評価ポイント 防災訓練等の実施数 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 工場の水害対策強化を実施 ✓ 従業員へ防災グッズの配付 ✓ 全社一斉の安否確認訓練実施
6. ESG/SDGs経営委員会の社内浸透活動	社内浸透活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ESG/SDGsに対する意識の向上 ESG/SDGsに関する啓蒙活動、イベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ESG/SDGsの従業員定着率（アンケート調査による） エピソードコンテンツの累計件数 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ サンクスカード導入による従業員の円滑なコミュニケーションを推進 ✓ サステナビリティ関連クイズ・コラム・動画の配信 ✓ 当社事業所周辺の清掃活動に参加
7. ESG/SDGsに関連した新商品・新サービスの創出	商品・サービスの具現化	<ul style="list-style-type: none"> 新商品・新サービスの創出 	<ul style="list-style-type: none"> 新商品・新サービスの導入件数 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ECOマーク商品の取り扱いアイテム拡大 ✓ 100%リサイクル素材の導入検討

サステナビリティ経営の取り組み例

白銅は、モノづくりを通じた社会への貢献に加えて、自社農園による雇用創出など幅広い活動を行っています。

白銅ファーム



白銅は障がい者就労促進の一環として白銅ファームを運営しています。神奈川県横浜市と埼玉県三郷市に拠点を設け、2025年10月現在、11名の従業員が在籍しており、葉物野菜をメインに約30種類を栽培しています。

収穫した野菜は、子ども食堂への寄付や当社従業員に配付しています。

※ 2025年10月末時点の情報を元に作成

スーパー・ミニマム チャレンジ



スーパー・ミニマムチャレンジとは、50ccエンジンによる最速記録に挑戦するプロジェクトです。米国ユタ州のボンネビルで毎年開催されています。

バイクには白銅が提供したアルミ材が使用され、2019年大会では世界最速記録を更新しました。

最近では、3Dプリンター造形部品も使用されています。

コマ大戦



コマ大戦とは、全国の製造業者が制作したコマを持ち寄って戦うトーナメント式の大会です。各県で高校生コマ大会も開催されています。

神奈川県高校生コマ大戦には白銅が材料を支給して協賛するなど、日本のモノづくりの発展のための活動を行っています。

下町ボブスレー



下町ボブスレーは、大田区の小さな町工場が中心となり、世界トップレベルのソリを作り、産業のまち大田区の「モノづくりの力」を世界に発信するプロジェクトです。

下町ボブスレーの材料は白銅が無償提供しており、製作されたボブスレーは2023年1月の世界選手権で19位の成績を残しました。

(写真提供：国際ボブスレー連盟IBSF)

学生ロボコン



学生ロボコンとは「ロボットコンテスト」の略称で、ロボットを学生チーム（もしくは個人）で製作し、それを競わせる大会のことです。

白銅は学生への材料支援を行っています。

今回、材料提供している東京大学の学生がABU (Asia-Pacific Broadcasting Union)ロボコンで優勝し、世界一に輝きました。

ご清聴ありがとうございました

■白銅公式SNSアカウントについて

当社では、LINE、Facebookの公式アカウントを開設し、商品紹介や展示会の出展案内などのお役立ち情報を定期的に発信しております。
右記のQRコードから、是非、お友だち追加をお願いします！



■本資料における注意事項

この資料には、2025年11月現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性がございます。

■お問合せ先

白銅株式会社 経営企画部
メールアドレス：hkdkeiki@hakudo.co.jp
ホームページ：www.hakudo.co.jp